

1. 次の英文を読み、A-1 から A-5 までの設問に答えなさい。解答は、それぞれの設問に対応する選択肢の1から3までの中から答えとして最も適切なものを一つずつ選び、その番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。

A fisherman was rescued on Sunday off Miyako Island, Okinawa Prefecture, after drifting in his boat for about three days, the Japan Coast Guard said.

A Japan Coast Guard patrol ship found the fisherman on his boat at 3:35 a.m. He was slightly dehydrated but in good condition, coast guard officials said.

According to the officials, the fisherman left a fishing port in Hirara on Miyako Island at 5 p.m. on Wednesday to fish near neighboring Kurima Island. He was carrying bananas, rice balls and candy.

The fisherman intended to return to the fishing port on Thursday morning but lost his way due to fog. Although he met some other fishermen near Irabu Island and was given the general direction for Miyako Island, his boat ran out of fuel along the way, they said.

(注) dehydrated 脱水状態の

(設問)

A-1 この漁師が救助されたとき、乗っていた船はどのような状態だったか。

1. 浸水していた。
2. エンジンが故障していた。
3. 燃料を使い果たしていた。

A-2 救助されたとき、この漁師の状態はどのようであったか。

1. 脱水症状もなく、良い状態だった。
2. 軽い脱水症状を起こしていたが、状態は良かった。
3. ひどい脱水症状を起こしていたが、救助されてから状態が良くなった。

A-3 この漁師が、平良の漁港(a fishing port in Hirara)を出港した目的は何か。

1. 食料品を伊良部島(Irabu Island)の近くで漁をしている仲間に届けるために出港した。
2. 来間島(Kurima Island)に魚を運ぶために出港した。
3. 魚をとるために出港した。

A-4 木曜日の朝、この漁師に何が起きたか。

1. 伊良部島の近くに戻ろうとしたが、霧のために自分の船の位置が分からなくなった。
2. 平良の漁港に帰ろうとしたが、霧のためにどの方向に船を進めたら良いのか分からなくなった。
3. 自分の船に乗るために来間島の漁港に歩こうとしたが、霧のために道に迷った。

A-5 この漁師が、水曜日に平良の漁港を出港してからパトロール船に救助されるまでの間に、他の人に出会ったか。

1. はい。
2. いいえ。
3. 漁師には出会っていない。

2. 次の A-6 から A-9 までの英文は、海上移動業務に関する国際文書の規定の趣旨に沿って述べたものである。この英文を読み、それに続く設問に答えなさい。解答は、それぞれの設問に対応する選択肢の 1 から 3 までの中から答えとして最も適切なものを一つずつ選び、解答紙のその番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。

A-6 The frequency 156.8 MHz is the international distress, safety and calling frequency for radiotelephony for stations of the maritime mobile service. This frequency may be used by aircraft stations for safety purposes only.

(注) may ---してもよい

(設問) この周波数を安全の目的のためだけに使用できる局は、次のうちどれか。

1. 海上移動業務の局
2. 海上移動業務の局と安全な状態にある航空機局
3. 航空機局

A-7 Safety messages shall be transmitted where practicable on a working frequency after a preliminary announcement on 156.8 MHz.

(注) practicable 実行可能な preliminary announcement 予告

(設問) 安全通報の送信は、実行可能であれば、次のどの方法で行うことになっているか。

1. 通信周波数でその予告を行い、次に 156.8 MHz で送信する。
2. 156.8 MHz でその予告を行い、次に通信周波数で送信する。
3. 156.8 MHz 又は通信周波数でその予告を行い、次にその二つの周波数で送信する。

A-8 Ship stations should, where practicable, maintain watch on 156.8 MHz when within the service area of a coast station providing international maritime mobile radiotelephone service in the band 156-174 MHz.

(設問) 船舶局は、実行可能なら、どの海域にあっても、156.8 MHz で聴守を続けなければならないか。

1. はい。
2. いいえ。
3. はい。ただし、国際航海をしている場合に限る。

A-9 To facilitate the reception of distress calls and distress traffic, all transmissions on 156.8 MHz shall be kept to a minimum and shall not exceed one minute.

(注) facilitate 容易にする exceed 超える

(設問) 156.8 MHz の周波数におけるすべての伝送は、どのように行わなければならないか。

1. 1 分以内の最小の時間で伝送しなければならない。
2. 伝送が 1 分を超える部分は最小にしなければならない。
3. 伝送の時間はなるべく 1 分間を超えないようにしなければならない。

3. 次の設問 B-1 の日本文に対応する英訳文の空欄（ア）から（オ）までに入る最も適切な語句を、選択肢の 1 から 7 までの中からそれぞれ一つずつ選び、解答は、選んだ選択肢の番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。

(設問)

- B-1 A: 明日の午後 2 時頃、会社にあなを訪ねて行ってもいいですか。
B: すみません。明日は、一日中忙しいです。

A: May I (ア) you at your office at (イ) two o'clock tomorrow afternoon?

B: Sorry. I'll be (ウ) tomorrow (エ) day (オ).

1. about 2. all 3. busy 4. going 5. long 6. visit
7. work hard

4. 次の設問 B-2 の日本文に対応する英訳文の空欄（ア）から（オ）までに入る最も適切な語句を、選択肢の 1 から 7 までの中からそれぞれ一つずつ選び、解答は、選んだ選択肢の番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。なお、選択肢は、文頭にくるものも小文字で記してある。

(設問)

- B-2 チャンネル 16 で聴守しててください。入港する前に 16 チャンネルでもう一度当方を呼び出して下さい。

Keep (ア) on channel 16. (イ) me (ウ) on channel 16 (エ) you (オ) the port.

1. again 2. before 3. call 4. calling is 5. enter
6. in front 7. watch

5. 次の設問 B-3 の日本文に対応する英訳文の空欄（ア）から（オ）までに入る最も適切な語句を、選択肢の 1 から 7 までの中からそれぞれ一つずつ選び、解答は、選んだ選択肢の番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。

(設問)

- B-3 無線電話の遭難信号は、MAYDAY の語で成り立っている。遭難船は、この信号を即時の救助を求めるために使用することができる。

The radiotelephone distress signal (ア) (イ) the word MAYDAY. A ship in (ウ) can (エ) the signal to (オ) immediate assistance.

1. consists 2. distress 3. dangerous 4. is used 5. of
6. request 7. use